

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和2年2月】

■調査概要（データ対象期間：令和2年2月1日～2月29日）

○調査期間：令和2年2月27日～令和2年3月18日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業24企業、製造業22企業、卸売業14企業、小売業28企業

飲食業17企業、サービス業45企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計150企業>

○調査項目：2月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※ $DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI、水準DIともにマイナス幅の拡大

1. 業況判断

○全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲14.6）よりマイナス幅が8.7ポイント拡大し、▲23.3となった。業種別では、建設業がプラスからマイナスに転じ、小売業、サービス業、飲食業、卸売業、製造業はマイナス幅が拡大した。

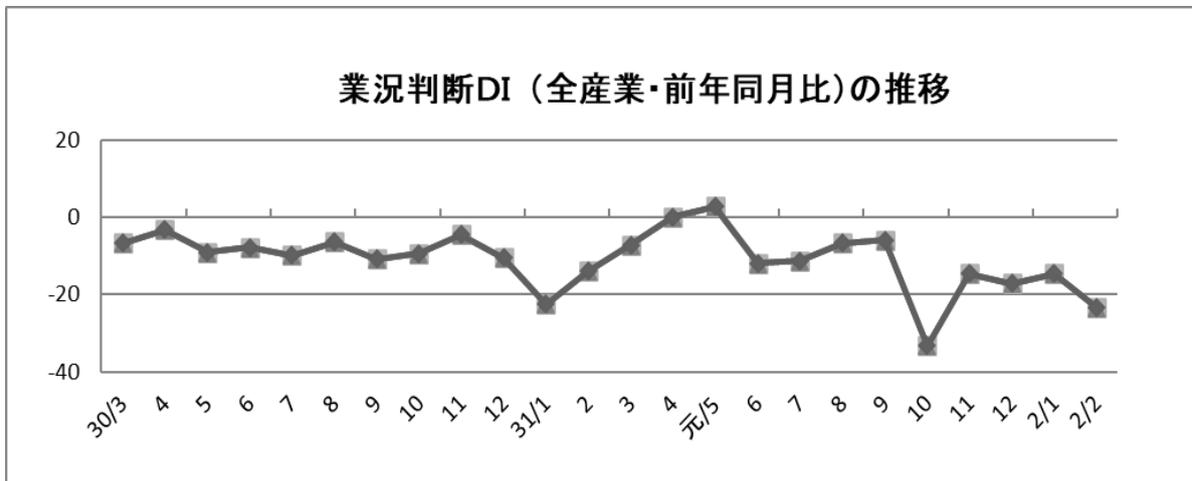
○全産業合計の水準DIは、前月（▲20.6）よりマイナス幅が6.7ポイント拡大し、▲27.3となった。業種別では、建設業は横ばいで、製造業はマイナス幅が縮小した。サービス業、小売業、飲食業、卸売業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	10.0 (14.7)	56.7 (56.0)	33.3 (29.3)	↘ ▲23.3 (▲14.6)	8.0 (14.7)	56.7 (50.0)	35.3 (35.3)	↘ ▲27.3 (▲20.6)
建設業	4.2 (8.3)	83.3 (87.5)	12.5 (4.2)	↘ ▲8.3 (4.1)	12.5 (8.3)	75.0 (83.4)	12.5 (8.3)	→ 0.0 (0.0)
製造業	4.5 (19.0)	50.0 (42.9)	45.5 (38.1)	↘ ▲41.0 (▲19.1)	4.5 (14.3)	59.1 (38.1)	36.4 (47.6)	↗ ▲31.9 (▲33.3)
卸売業	0.0 (7.7)	50.0 (46.1)	50.0 (46.2)	↘ ▲50.0 (▲38.5)	0.0 (7.7)	35.7 (38.5)	64.3 (53.8)	↘ ▲64.3 (▲46.1)
小売業	17.9 (23.3)	39.2 (30.0)	42.9 (46.7)	↘ ▲25.0 (▲23.4)	14.3 (20.0)	35.7 (33.3)	50.0 (46.7)	↘ ▲35.7 (▲26.7)
飲食業	5.9 (6.3)	41.2 (49.9)	52.9 (43.8)	↘ ▲47.0 (▲37.5)	5.9 (25.0)	41.2 (18.7)	52.9 (56.3)	↘ ▲47.0 (▲31.3)
サービス業	15.6 (15.2)	64.4 (67.4)	20.0 (17.4)	↘ ▲4.4 (▲2.2)	6.7 (13.0)	71.1 (63.1)	22.2 (23.9)	↘ ▲15.5 (▲10.9)

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
 「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計

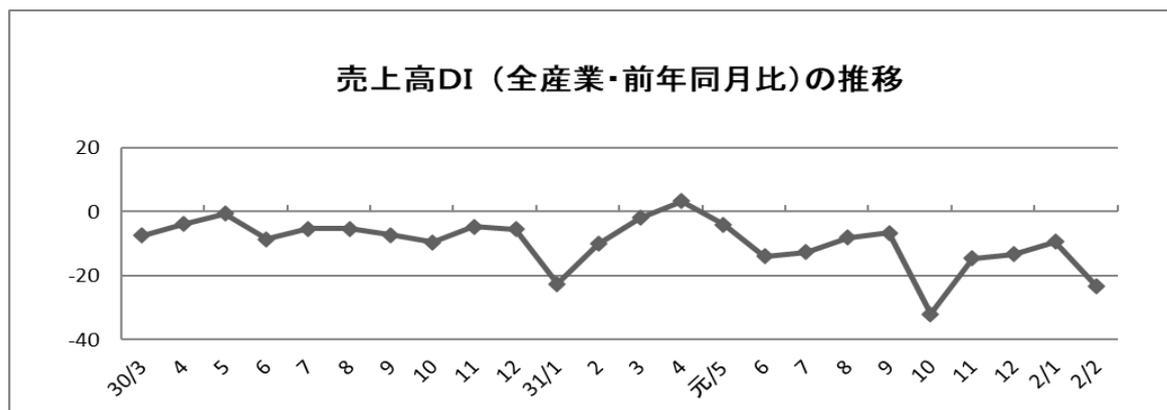


2. 売上高D I（前年同月比）

○全産業合計の売上高D Iは、前月（▲9.3）から14.1ポイント拡大して▲23.4となった。業種別に見るとサービス業、建設業はプラスからマイナスに転じた。卸売業はマイナス幅が縮小し、小売業、飲食業、製造業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	31年2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	02年1月	2月
全 体	▲10.0	▲1.9	3.3	▲4.0	▲13.9	▲12.6	▲8.0	▲6.6	▲32.0	▲14.6	▲13.3	▲9.3	▲23.4
建設業	▲20.0	8.4	▲8.7	▲26.1	▲13.1	▲8.3	0.0	▲4.0	4.0	0.0	▲4.0	16.6	▲12.5
製造業	▲10.0	10.0	4.4	▲4.8	▲22.8	▲4.8	▲35.0	13.6	0.0	▲18.2	▲40.9	▲14.3	▲41.0
卸売業	▲26.7	▲15.4	0.0	▲25.0	▲15.4	▲40.0	▲50.0	▲41.7	▲64.3	▲50.0	▲38.5	▲30.8	▲28.6
小売業	▲12.0	▲12.9	▲3.6	▲14.3	▲20.7	▲25.8	6.7	13.3	▲39.3	▲21.9	▲6.7	▲23.4	▲25.0
飲食業	▲35.3	▲22.2	11.1	0.0	▲47.1	▲12.5	▲26.6	▲31.3	▲76.5	▲43.8	▲20.0	▲31.2	▲47.0
サービス業	10.5	6.6	10.8	16.7	6.4	▲4.2	4.0	▲12.8	▲34.1	4.6	0.0	2.2	▲8.9

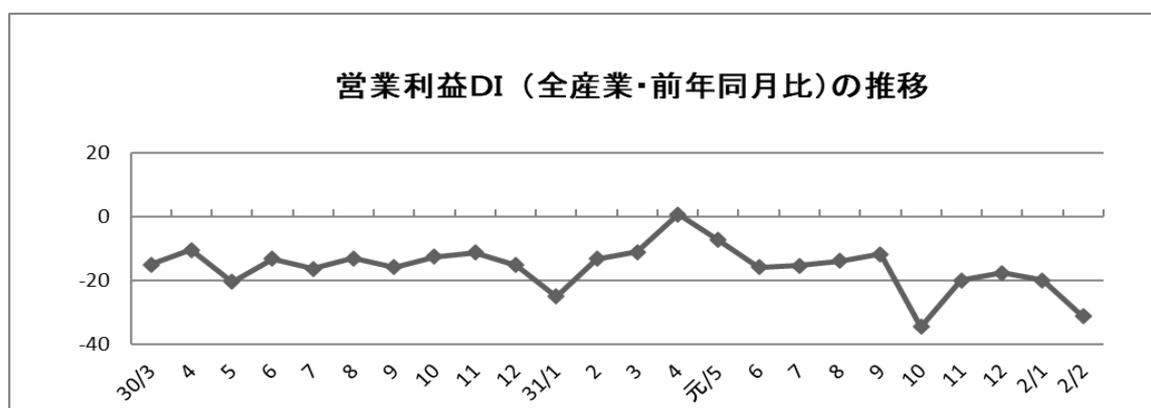


3. 営業利益D I（前年同月比）

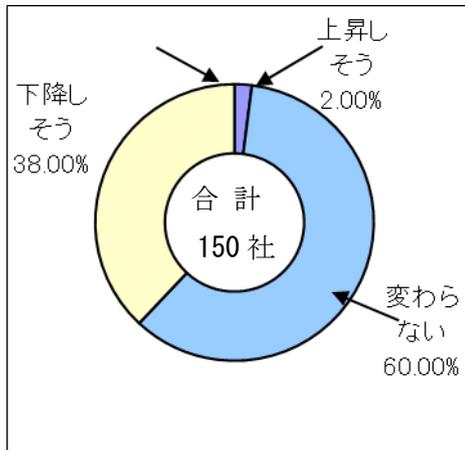
○全産業合計の営業利益D Iは、前月（▲20.0）より11.3ポイント拡大して、▲31.3となった。業種別に見ると、サービス業は0からマイナスになり、小売業はマイナス幅が縮小した。製造業、卸売業、飲食業、建設業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	31年2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	02年1月	2月
全 体	▲13.3	▲11.2	0.7	▲7.4	▲15.9	▲15.4	▲14.0	▲11.8	▲34.7	▲20.0	▲17.8	▲20.0	▲31.3
建設業	▲16.0	▲4.2	▲4.4	▲13.1	▲17.4	▲16.7	0.0	▲8.0	▲4.0	▲4.0	0.0	▲4.2	▲29.1
製造業	▲30.0	▲20.0	8.7	▲19.1	▲18.2	▲19.0	▲45.0	▲9.1	▲10.5	▲31.8	▲50.0	▲38.1	▲50.0
卸売業	▲6.7	▲7.7	25.0	8.3	▲15.4	▲10.0	▲40.0	▲16.6	▲50.0	▲25.0	▲23.1	▲30.8	▲42.9
小売業	▲12.0	▲25.8	▲14.2	▲10.7	▲27.6	▲22.6	▲10.0	10.0	▲46.4	▲28.1	▲16.7	▲36.7	▲35.7
飲食業	▲41.1	▲27.8	0.0	▲5.5	▲47.1	▲18.8	▲20.0	▲43.7	▲82.4	▲50.0	▲40.0	▲37.5	▲52.9
サービス業	2.1	4.4	2.1	▲2.1	4.3	▲8.3	▲4.0	▲17.1	▲31.9	▲4.6	▲4.4	0.0	▲8.9



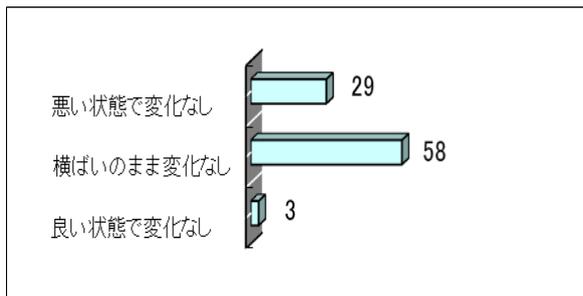
◇ 向こう3カ月の見通し ◇



○令和2年3月～令和2年5月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ9.33ポイント減少し2.00%、「下降しそう」が18.67ポイント増加し38.00%となった。業種別の見通しDIは建設業(▲12.5)、製造業(▲22.8)、卸売業(▲35.7)、小売業(▲53.6)、飲食業(▲47.1)、サービス業(▲40.0)であった。

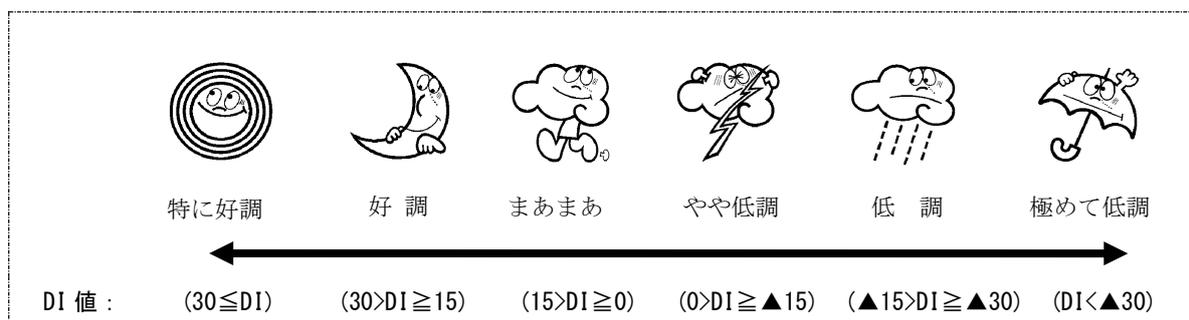
➡「上昇しそう」では「災害復旧工事及び新年度の仕事が発注されるため」(建設業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「オリンピック開催前となり開催時の工事が止まりそうのため」「遅延していた現場が終了し落ち着くため」「物件数の減少のため」「新型コロナウイルス感染症の影響が全く予測できないため」(建設業)「2月が良すぎたので、少し落ち込みが見込まれるため」「新型コロナウイルス感染症の拡散による、経済沈滞のため」「新型コロナウイルス感染症の影響で減産のため(同意見4件)」(製造業)「新型コロナウイルス感染症の影響のため(同意見4件)」(卸売業)「新型コロナウイルス感染症の影響のため(同意見13件)」(小売業)「新型コロナウイルス感染症の影響のため(同意見7件)」(飲食業)「新しい案件について引合いがあるが、回収がないため」「人件費が増えるため」「2月の売上は例年になく良かったが、今後の先行きは不透明なため」「新型コロナウイルス感染症の影響のため(同意見12件)」(サービス業)といった声が寄せられた。



業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	31年2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	02年1月	2月
売上高	▲20.0	8.4	▲8.7	▲26.1	▲13.1	▲8.3	0.0	▲4.0	4.0	0.0	▲4.0	16.6	▲12.5
受注量	▲12.0	▲16.7	▲8.7	▲8.7	0.0	▲12.5	4.0	4.0	20.0	4.0	▲4.0	0.0	▲16.7
受注単価	4.0	0.0	0.0	▲4.3	▲8.7	0.0	4.0	▲4.0	0.0	▲4.0	▲4.0	0.0	▲8.3
営業利益	▲16.0	▲4.2	▲4.4	▲13.1	▲17.4	▲16.7	0.0	▲8.0	▲4.0	▲4.0	0.0	▲4.2	▲29.1
見通し	12.0	▲4.1	13.1	13.0	4.3	8.4	▲4.0	▲4.0	4.0	0.0	▲8.0	4.2	▲12.5

<経営者の目・見方・etc>

総合建設

建設業

建築工事

土木工事

電気工事

- ・台風19号による災害復旧工事が発注され始めた。
- ・1月に続き暖冬で雪も少なく現場の工程はスムーズに進んだが、除雪作業が無いと除雪機械の経費等が確保できないので、除雪体制の維持が難しくなる。
- ・働き手不足が課題である。
- ・新型コロナウイルス感染症のため、中国で生産されている部品の供給不足により、納品の遅延が始まっている。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響によるサプライヤーからの部品調達の遅れにより先行き不透明な状況になり材料等が発注出来ない現状である。
- ・民間受注のおかげで今のところしのいでいるが、今後については不安である。
- ・取引先から比較的繰越工事の受注があり、4、5、6月位迄例年よりも売上高が伸びそうである。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で顧客先が稼働していない所があったり、中国からの部品の仕入が止まった影響で物の仕入が未定であったりと、徐々に支障が出てきた。

- 管工事
 - ・年末に完成出来なかった物件が多かったため2月以降に持ち越して来ている。今年は見通しが難しいと感じている。
- 鉄工
 - ・オリンピックを見据えて物件数が減少しているところに、新型コロナウイルス感染症が加わり見通しがどうなるのか不安である。
 - ・元々今期はオリンピック開催による建設事業の自粛という雰囲気があったが、この数日めまぐるしく新型コロナウイルス感染症対策が打ち出され、全く先が見通せなくなった感じである。日本や近隣諸国のみの問題でなく世界的な広がりを見せていて非常に不安な感じである。
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響で、落ち込みが大きくなるのではないかと不安である。
- 石材
 - ・新型コロナウイルス感染症は連日テレビで報道されているが、これから先どうなるのか経済が心配である。
- 建築設計
 - ・材料不足が心配である。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	31年2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	02年1月	2月
売上高	▲10.0	10.0	4.4	▲4.8	▲22.8	▲4.8	▲35.0	13.6	0.0	▲18.2	▲40.9	▲14.3	▲41.0
受注量	▲5.0	0.0	8.7	▲14.3	▲9.1	▲4.8	▲10.0	4.5	▲10.5	▲22.8	▲27.3	▲19.0	▲41.0
受注単価	▲20.0	▲10.0	0.0	▲19.0	▲9.1	▲4.8	▲10.0	▲18.2	▲15.8	▲22.7	▲13.6	▲14.2	▲9.1
営業利益	▲30.0	▲20.0	8.7	▲19.1	▲18.2	▲19.0	▲45.0	▲9.1	▲10.5	▲31.8	▲50.0	▲38.1	▲50.0
見通し	0.0	▲10.0	▲30.4	▲14.3	0.0	▲9.5	▲20.0	▲18.2	▲15.8	▲27.3	▲4.5	4.8	▲22.8

<経営者の目・見方・e c>

- 印刷
 - ・3月は年度の仕事が当初から予定されていたので仕事量的にはある程度問題ないが、新型コロナウイルス感染症の影響が、こちらの業界に襲ってくるのはGW前後からなのかと思われる。
 - ・市長選候補者ポスターの印刷発注状況だが、地元業者に発注せず県外ネット印刷に出している候補者があった。責任者の地域内経済循環への意識が極めて希薄で、残念な行動だった。
 - ・年度末の学校関係印刷物において、PTA役員がネット印刷を引き合いに出し、デフレに押し下げる事例が見られる。他にも廃業する地元印刷業者に代わり、仕事を受注しようとしたが、金額があまりにデフレ価格で、廃業も当然の積算内訳だと実感した。業界の正しい積算と実態との乖離が著しい。

酒類	・新酒も出揃い、2月中旬までは好調に推移していたが、新型コロナウイルス感染症の拡散が話題になり始めてから、観光客が激減し、外出を控えるために一般飲食店、ホテル旅館への売上も減少している。清酒の家飲みが増えればよいが、それもあまり効果なく、今後の動きは予測がつかない。イベントの開催中止、延期、人ごみを避けるなど、いままでにない生活行動を求められた消費者の動向が見えてこない。いままで経験したことのない、先行きの全く見えない経済危機を迎えているように思う。
菓子	・新型コロナウイルス感染症の影響で菓ごもり消費が2月の中旬から発生し、当社の商品は賞味期限が長いため、需要が大幅に増えて出荷量も増加した。同業他社の話でも、同時期から需要が伸びたと話している。
金属塗装	・1月に引き続き受注、売上が減少した。新型コロナウイルス感染症の影響が大きくなってきたと感じる。
精密機械	・新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される。やっと米中貿易摩擦の問題が落ち着いてきた矢先だったのでとても残念である。
小型情報機器組立	・2月末の情報では3月は部品の入荷が遅れ生産減になると連絡があったが、大変な変動で先の見通しが分からない。
紙器	・例年の事だが2月は動きが良くない。

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	31年2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	02年1月	2月
売上高	▲ 26.7	▲ 15.4	0.0	▲ 25.0	▲ 15.4	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 64.3	▲ 50.0	▲ 38.5	▲ 30.8	▲ 28.6
販売客数	▲ 6.7	▲ 7.7	0.0	▲ 16.7	▲ 15.4	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 16.7	▲ 28.6	▲ 16.7	▲ 15.4	▲ 15.4	▲ 28.6
販売客単価	▲ 20.0	▲ 15.4	0.0	0.0	▲ 7.7	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 35.7	▲ 8.4	7.7	▲ 23.1	▲ 7.1
営業利益	▲ 6.7	▲ 7.7	25.0	8.3	▲ 15.4	▲ 10.0	▲ 40.0	▲ 16.6	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 42.9
見通し	6.7	0.0	0.0	0.0	7.7	▲ 10.0	▲ 10.0	8.3	0.0	▲ 16.7	7.7	▲ 23.1	▲ 35.7

<経営者の目・見方・e t c>

土産品	・新型コロナウイルス感染症の影響により注文済の発注依頼品の入荷が20%程しかなく、残りは3月から4月に移行した。仕入した製品を販売する卸売業にとってはかなりの痛手である。
鮮魚	・新型コロナウイルス感染症の影響で、納入先の予約のキャンセルが急激に増加し、納品が急激に落ち込んだ。この状況がいつまで続くのか不安である。
青果	・中旬以降、新型コロナウイルス感染症の影響で業務関係の荷動きが低迷しているが、量販店は逆に動きが良い状況である。

業務用食品	・2月末の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策により3月以降の業績が既に大きく減少している。学校の休校、海外からの旅行客の減少、イベントの中止自粛や宿泊施設、飲食業の客数激減が大きく影響している。
医薬品	・新型コロナウイルス感染症による医療機関に対する受診抑制のため患者数減が見込まれる。
金属製品	・建築業界は物件引合いに陰りが見られる。昨年の台風被害から脱してきた矢先の新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、今後の製造業には不安要素が漂っている。
機械工具	・3月末までは在庫対応が可能なため、新型コロナウイルス感染症の影響が完全に表面化するのは4月以降だと言われている。 ・中国からの国内転注のため製品単価が上昇し、値上げの予告がいくつか来ている状況である。 ・元々、2月の売上の予測は悪かったが、新型コロナウイルス感染症の発生により客先の中国工場の操業ができなくなり、日本国内にも大きな影響がはじまって不安である。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	31年2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	02年1月	2月
売上高	▲12.0	▲12.9	▲3.6	▲14.3	▲20.7	▲25.8	6.7	13.3	▲39.3	▲21.9	▲6.7	▲23.4	▲25.0
販売客数	▲16.0	▲12.9	3.6	▲3.6	▲31.1	▲35.5	0.0	0.0	▲42.9	▲25.0	▲13.3	▲6.7	▲35.7
販売客単価	4.0	▲16.1	▲7.2	▲7.2	▲20.7	▲6.5	3.4	3.3	▲35.8	▲15.6	10.0	▲16.7	3.6
営業利益	▲12.0	▲25.8	▲14.2	▲10.7	▲27.6	▲22.6	▲10.0	10.0	▲46.4	▲28.1	▲16.7	▲36.7	▲35.7
見通し	4.0	6.4	3.5	▲10.7	▲17.3	▲16.1	0.0	▲26.6	▲10.7	▲9.4	▲3.3	▲26.6	▲53.6

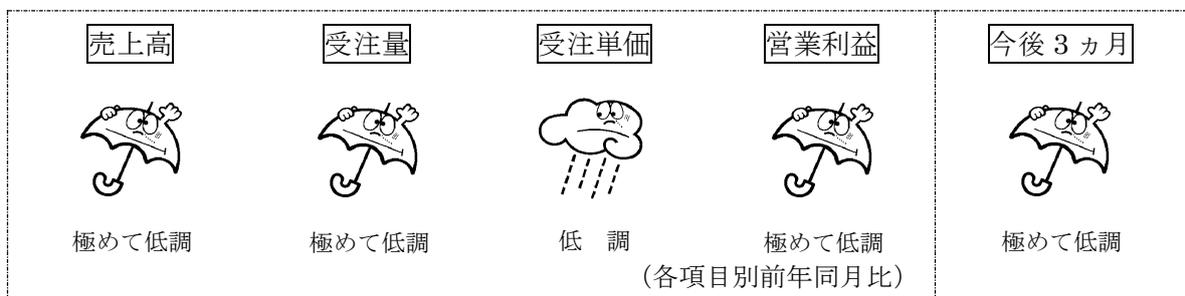
<経営者の目・見方・etc>

印章	・選挙前で人通りが少なくなるご時世に、新型コロナウイルス感染症が追い打ちをかけ、人通りも注文も激減した。各種イベントの自粛が早く解消され、山雅の試合などが正常に開催されるのを待ちたいと思う。
印章・刃物研ぎ	・街中に人がいなくなった。特に外国人の観光客は激減している。商売と人々の交流が不透明となり、全く不安定である。
住宅機器	・取引が少ないところに来て、新型コロナウイルス感染症の影響でトイレや食洗器、IH機器がいつ搬入されるのか不明な状況により、引渡しが出来ない家が増えている。

ガラスサッシ
 生鮮食品
 洋菓子
 味噌・しょうゆ
 婦人服
 化粧品
 陶磁器
 薬局
 燃料
 自転車

- ・景気対策を喫緊の課題として取り組んでいただきたいと思います。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で消費が落ち込み心配である。春に向かい早く落ち着いて欲しいものである。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響が心配である。今のところ変化はないが、今後どうなるのかわからない状況である。ネガティブな情報が多い中、明確に先を見据えて行動している方も多い。新型コロナウイルス感染症もいずれは終息すると思うので、その時により良い状態でいられるように、考えるべき事、やるべき事を前向きにやっていきたいと思っている。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント中止等、売上の減少が心配である。
- ・拡大する新型コロナウイルス感染症の影響で洋服を買いに来る楽しみが無くなってしまったお客様のために仕入をして、お客様に提案するスタイルを確立していかなくてはと考えている。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で来客数も減少がみである。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で肌に触れることを一切禁止にした。社会全体、経済が今後どうなるのか不安である。
- ・先月末で小売部門を整理したので新型コロナウイルス感染症の影響による来店客の減少からは逃れる事はできたが、卸売先の飲食店や宿泊施設への影響が深刻化しているので、今後の見通しは立たない状況である。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で買い控えが心配である。
- ・今後の原油価格が不安である。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響が心配である。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	31年2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	02年1月	2月
売上高	▲35.3	▲22.2	11.1	0.0	▲47.1	▲12.5	▲26.6	▲31.3	▲76.5	▲43.8	▲20.0	▲31.2	▲47.0
販売客数	▲41.1	▲16.7	11.1	5.5	▲47.1	▲12.5	▲26.6	▲37.5	▲70.6	▲43.8	▲13.4	▲25.0	▲47.0
販売客単価	▲23.5	▲27.7	0.0	▲5.5	▲23.5	0.0	▲20.0	▲18.7	▲17.6	▲18.7	▲20.0	▲18.7	▲23.5
営業利益	▲41.1	▲27.8	0.0	▲5.5	▲47.1	▲18.8	▲20.0	▲43.7	▲82.4	▲50.0	▲40.0	▲37.5	▲52.9
見通し	11.7	▲11.1	0.0	▲5.5	11.7	0.0	▲13.3	▲12.5	▲5.9	▲6.2	▲13.3	▲6.3	▲47.1

<経営者の目・見方・etc>

料理

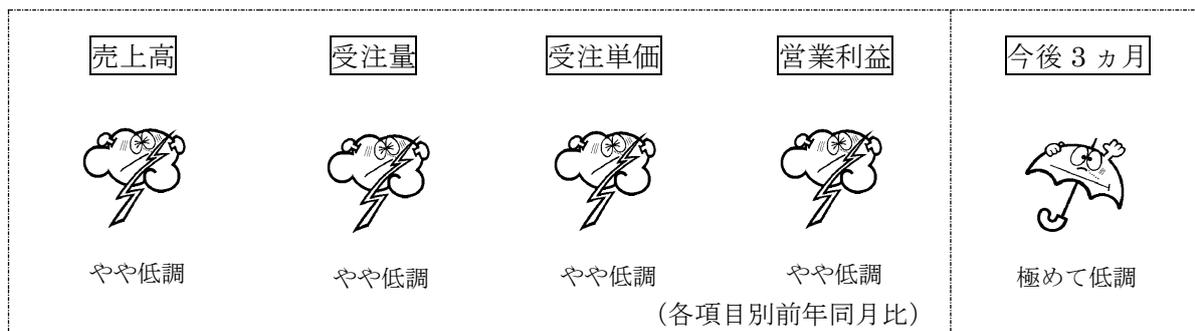
- ・少人数だったが宴会があり、まあまあのものであったが、客単価は低かった。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で3月の予約はほぼ無くなってしまい、運転資金が心配である。

郷土料理

- ・世界的な新型コロナウイルス感染症の流行による観光客が来ない現況では、地元客くらいしか来店しない。今後直ぐに回復する見込みもなく、早期の終息が待たれる。

創作料理	<ul style="list-style-type: none"> 先月まで止まっていた客が動き出した矢先に新型コロナウイルス感染症の発生で予約がキャンセルになり、関わっていたイベントも中止になってしまい、大きな痛手である。早く終息して欲しいと切に願うばかりである。
居酒屋	<ul style="list-style-type: none"> 温暖化の影響で暖かかったため人の出はあった。 4月以降、禁煙、新型コロナウイルス感染症と飲食業に不利な状況になってくると思われる。
洋風居酒屋	<ul style="list-style-type: none"> 毎年の2月特有の閑散期に加え、新型コロナウイルス感染症の影響のため宴会のキャンセルが続き悲惨な状況である。
食堂	<ul style="list-style-type: none"> 2月末頃から新型コロナウイルス感染症の影響が著しくなってきた。平日も売上が半減している。一日も早く収束するように願うのみである。
寿司	<ul style="list-style-type: none"> 最終週の前までは天候の影響もあってか堅調な推移であったが、最終週以降3月に入ってからは今までにない売上の日が続く。今後は新型コロナウイルス感染症の終息を待つしかないが、そういった中でも新たな需要も模索していきたい。 予約のキャンセル続出で先行きが非常に心配である。新型コロナウイルス感染症の影響がこれ程すごいものとは想像も出来なかった。通常、これから良くなる3月、4月への影響がとても不安である。支援もしくは無利子貸し付け等政府の早めの対策を願うばかりである。
そば	<ul style="list-style-type: none"> 3月末までの大人数の予約が全てキャンセルになり、過去に経験した事がない絶望感を感じ、この先どうなるのか不安と恐怖で気が気でない状況である。 まさか新型コロナウイルス感染症によって収入が不安定になるとは思わなかったが、家族が健康であることに感謝しなければならないと感じた。 新型コロナウイルス感染症の影響が不安である。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	31年2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	02年1月	2月
売上高	10.5	6.6	10.8	16.7	6.4	▲4.2	4.0	▲12.8	▲34.1	4.6	0.0	2.2	▲8.9
販売客数	2.1	4.4	4.3	0.0	4.3	▲8.3	2.0	▲14.9	▲40.4	0.0	▲10.9	▲10.9	▲8.9
販売客単価	6.2	6.7	▲4.4	2.1	2.1	▲6.2	6.0	▲6.3	▲25.5	2.3	▲2.2	4.3	▲2.2
営業利益	2.1	4.4	2.1	▲2.1	4.3	▲8.3	▲4.0	▲17.1	▲31.9	▲4.6	▲4.4	0.0	▲8.9
見通し	16.7	8.9	4.3	8.4	6.4	▲2.1	▲12.0	▲14.8	▲2.1	▲7.0	▲10.8	▲4.4	▲40.0

<経営者の目・見方・etc>

自動車整備、
板金塗装

自動車整備
機械設計

ソフトウェア

システムサポート

旅館

温泉旅館

ホテル

宿泊

リラクゼーション

- ・新型コロナウイルス感染症の問題が深刻な状況である。この先も広がり続ければ景気を左右する恐れがある。市中感染になれば社会的にも大打撃で、不安になるばかりである。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で来客数も減少のみである。
- ・新型コロナウイルス感染症の大きな影響は出ていないが、これ以上続くと厳しい状況である。他社は部品が中国から入って来なくて製品ができない状態になっている。日本製の部品の価格とでは全く合わない状況である。
- ・2月末から3月にかけて、新型コロナウイルスの影響で、顧客との打ち合わせが制限されるケースが多くなった。エンジニアが顧客指定の場所に常駐する形態を取るプロジェクトは存続が難しい。テレワークとは、自宅で仕事をするのではなく、プロジェクトをリモート間で維持することと、トップの方々には理解いただきたい。
- ・当面は大きな変動はないが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては経済活動に悪い影響を与える懸念があり、注視が必要である。
- ・2月は少しのキャンセルで済んだが、今後のキャンセルと予約控えによりどの位の影響が出るかわからない。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響が不安である。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響でインバウンドを始めビジネスの宿泊客も減少し、松本での感染者報道で一層キャンセルが多くなり不安である。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響による宴会のキャンセルが多数と出張ビジネスの大幅な減少に先行きが不安である。
- ・暖冬による集客減少に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による、劇的な収入の減少を理解し、業界を強力にサポートしてほしいと要望する。
- ・景気が良く感じました。

タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・消費税増税に伴い、今月から運賃の変更を行った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で月の後半から人の動きが少なくなり、3月は更に客数が減ることが予想される。
理容	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響は全ての業種に出ると思われる。日本全体の景気低迷は過去の震災より大きいと色々な業種のお客様の声を耳にする。一日も早い収束を願うばかりである。
ペットサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・2月は客数、売上高共に前年を下回った。新型コロナウイルス感染症拡大による経済の落ち込みが激しいと感じている。当店もホテルのキャンセルが目立ってきた。
獣医	<ul style="list-style-type: none"> ・内科病患は犬、猫共に「急性膵炎」の症例が多く、また整形外科関係の手術も多く売上に貢献した。
建築設計、工事監理	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響が心配である。
ビル・住宅総合メンテナンス	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響がビルメンテナンスの業界にも出始めている。対応策を真剣に考えていかなければならないと思われる。
測量・建設コンサルタント業	<ul style="list-style-type: none"> ・2月に工事業務に携わった技術者の中から選りすぐられた者を表彰する「長野県優良技術者表彰」が行われた。受賞できなかったが、今後も高品質の成果を収めて社会資本の整備に貢献していきたいと考えている。
ホームクリーニング・リネンサプライ	<ul style="list-style-type: none"> ・2月はなんとか例年並みの売上を確保できたが、3月以降は確実に売上が3～4割程度落ち込み5月以降資金繰りに影響が出そうである。 ・新型コロナウイルス感染症の収束が見えず焦りを感じる。